

第 630 回：【4 年生向け】卒論で使えるおすすめソフトウェア 3 選 (MS)

みなさんこんにちは。水曜日担当の MS です。今回の LA 通信では、とくに卒論を執筆中の 4 年生のみなさんを対象として、卒論で使えるソフトウェアを 3 つご紹介いたします。おもに、ことばをデータとして扱う論文を執筆される方に便利かと思います。

はじめに、卒論のために大量の言語データを入手したものの、それをどのように整理して確認することができるかお困りの方には *AntConc* (Anthony, 2020) がおすすめです。Laurence Anthony 氏のウェブサイトから入手可能です。これを使うと、たとえば大量のデータから特定の語句をその周りの状況を表示しながら検索したり、その語句がどのような状況で、どの程度出現しているのかを計算したりできます。複数のテキストでの比較も可能で、一方のテキストには出てこないものの、もう片方のテキストには出てきやすい語句といったものを計算してくれたりもします。個人的に、少し古いバージョンの 3.5.9 がおすすめです。レイアウトが見やすく、基本的な機能が充実しているのが理由です。

ですが *AntConc* は、日本語のような分かち書きがされていない言語のデータを処理できません。ですので、同じく Anthony 氏が開発した *TagAnt* (2024) を使い、意味を持つ最小の単位ごとに分かち書きした形にしておく必要があります。ほかにも、後からデータを整理・確認しやすいように語に品詞ごとのタグ付けをする機能などもあります。語と語の関係を考えるような分野の卒論を執筆することを考えている方におすすめです。たとえば、英語の *whom* という語の前にはどのような品詞の語が置かれる傾向にあるの

かを確認するのに、品詞でタグ付けしておくそれが効率的にできます。

最後に、膨大な量のデータの全体像をつかみたい、客観的な傾向をつかみたいといった人には *KH Coder* (樋口、2020) がおすすめです。樋口氏のウェブサイトから入手できます。なお、無料版は分析できるテキストの長さや一部の機能に制限があるので注意です。直近の例だと、映画『シュレック』の吹き替えがどのような評価を受けているのかを分析しました。英語版の主人公のスコットランド訛りが、浜田雅功氏の関西弁で翻訳されているのです。これをどのように人々が受け止めたかを、日本の映画レビューサイトから吹き替えに関する評価を抽出し分析しました (クラスタ分析、共起ネットワークの作成等)。すると、関西弁の翻訳に対する肯定的な意見の多くは「面白い」「(キャラクターのイメージと) ぴったり」「笑える」といったもので、否定的な意見には「違和感」「辛い」「無理 (がある)」があることがわかりました。この分析をしたことで、実際のテキストを読む際にどのような点に注意すべきかが事前に分かり、したがって分析の手間が省けたということがあります。

以上が卒論の執筆で使える、おすすめしたいソフトウェア 3 選でした。みなさんのレポート等執筆の参考になれば幸いです。それでは。